

b002020 吉田区 十五夜綱引き

概要 適用



b002020001)



b002020002



b002020003



b002020004



b002020005



b002020006



b002020007

2015年9月27日 場所:吉田生活館

- ・ 旧暦の8月15日に行われる。
- ・ 綱を作る時は手を抜かずに伝統に従って作っている。
- ・ 綱の素材は葛(かずら)と茅(かや・すすき)。茅は吉田集落にもあるが、芯にするための葛は良いものがなく、最近では安房付近まで採りにいく。茅は「各家庭2束」を用意する。
- ・ 竜をイメージして作る。15尋分ぐらいの長さ。(目測で30m ぐらい)
- ・ 昔は綱が切れるまで行ったが、今は様子を見て包丁で綱を切る。切ったらつないで、また綱引き。それを3回行う。
- ・ 綱引きが終わったら、その綱を利用して土俵を作り、相撲大会。昔は幼児から大人まで相撲をした。
- ・ 昭和の中頃までは、生活館ではなく、県道で綱引きをしていた。
- ・ 「口説き」は近間十九二さん。
- ・ この日はあいにくの雨で、簡略化されたパターンだったが、吉田集落の伝統行事に対する熱い思いが伝わってきた。

写真コメント

b002020001.JPG メイン

b002020002.JPG 竜をイメージして作られた大綱。

b002020003.JPG とぐろを巻いた状態から、綱だしをしていく。

b002020004.JPG 30メートルほどの綱を総出で運ぶ。

b002020005.JPG 綱に三岳をかけ、無病息災を願う。

b002020006.JPG あいにくの天気だったが、3回ほど綱引きをした。

b002020007.JPG 見事な「口説き」をする近間さん。

b002020008.JPG 綱引きの後、公民館にて。吉田ではタコを味噌で食べる。



b002020008